



福生二中だより

No. 8

令和7年12月1日発行

福生市立福生第二中学校

TEL 042(551)1970

校長 平井 貞昭

続・夢や希望をもたせるということ

先日の本校、60周年記念式典では、とても立派で素晴らしい生徒の態度により、式が引き締め、とても盛大に記念式典が開催できました。改めて、福生二中の生徒がもっている力の大きさを実感するとともに、このような立派で素晴らしい生徒と学校生活を送ることができるのは、校長としてとても誇りに思います。

さて、先月の学校だよりで、「夢や希望をもたせるということ」について、お伝えしたと思います。少しだけ、前回の学校だよりの内容をおさらいすると、私が担任していたときの三者面談でのやりとりについて定員割れの高校を志望している御家庭の話から、夢や希望をもてずに人生を歩むのは寂しい気がするということで、子供に夢や希望をもってもらうために、我々ができることについて2点お伝えさせていただきました。その2点に加えて今回は3点の追加をお伝えいたします。

③ 子供の興味や関心を大切にする

保護者が、子供の興味や関心を一緒に調べてみる。

④ 失敗を恐れずチャレンジする姿勢を育む

家庭の中で、「失敗してもよい」「挑戦したことが大事」という価値観を共有し、失敗を責めるのではなく「どうしたら、次はうまくいくか」を一緒に考えることが大切だと思います。

⑤ 親の価値観を押し付けない

もちろん、親として「こうなってほしい」と伝えることはとても大切です。しかし、その願いが強すぎると子供は自分の気持ちを押し殺すようになってしまいます。子供の夢や希望は親と違っていても尊重する。その上で、子供と対話を重ねながら、親子で納得することが大切だと思います。

これらのことを、御家庭で意識していただけると幸いです。

※学校評価への回答の協力をお願いします。

学校評価は、本校の教育活動について保護者の皆様の意見をお聞きし、学校運営の工夫・改善に生かしていくものです。アンケートのメ切は、12月15日です。アンケートへの回答に御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

創立60周年記念式典



▲「ふたまる」

11月15日(土)、本校創立60周年記念式典が、多くの御来賓の皆様にご臨席を賜り、盛大に執り行われました。これまでの福生二中の歴史を感じながら、未来に向けてさらに飛躍する福生二中への期待が込められた式典となりました。第Ⅰ部では、前生徒会長の鈴木颯太さんが、第Ⅱ部では、現生徒会長の三ツ矢瑛斗さんが、とても立派な生徒代表挨拶を披露してくれました。また、第Ⅱ部は、生徒会が司会・進行を務め、生徒の主体的な活動となり、吹奏楽部の演奏、3年生の有志合唱、生徒会による10年間分の「福生二中の思い出」としてスライドの発表がありました。とても立派で素晴らしい第Ⅱ部となりました。生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

下に、式典当日、生徒の皆さんに私が伝えたメッセージを掲載させていただきます。



▲第Ⅰ部生徒代表挨拶
鈴木颯太さん



▲第Ⅱ部生徒代表挨拶
三ツ矢瑛斗さん



▲第Ⅱ部吹奏楽部の演奏

本校は、昭和41年4月に開校し、これまで、12,507名の卒業生を送り出しています。

60年前、本校は「創造性に満ち、心身の向上をめざして努力し、他と協力する個性豊かな実践力のある人材を育成する」という初代校長赤尾英三先生の強い想いのもと創立され、60年間大切にされてきた3つの教育目標、

一つは、豊かな心と知性を養う。二つは、強い意志と体力を育てる。三つは、勤労意欲と責任感を培う。これらは、皆さんの道しるべとして、毎日の学びや行事、仲間との関わりの中で、少しずつ体得し、成長を重ねて今日まで参りました。

私と皆さんは、福生二中が創立された60年前は生まれていませんが、この教育目標を含め創立当時の先生方の意志は今もしっかりと受け継がれているのです。

こうして脈々と受け継がれてきた原動力、それは「愛校心」だと私は思います。この「愛校心」があったから君たち生徒と我々教員との絆が60年間積み重ねられたのだと思います。「愛校心」とは、自分の学校を愛する心です。学校の主体は君たち生徒ですから、我々教員の「愛校心」とは、君たち生徒を愛する心です。では、君たち生徒にとっての愛校心とは何か。それは、二中に誇りをもつことです。「私の母校は福生二中で、とても素晴らしい学校です」と胸を張って自慢できることです。そのためには、皆さんと我々教員とで福生二中を自慢できる学校にしなければなりません。

私の願いは、ここにいる一人一人が「愛校心」をもち地域から愛され、信頼される存在になると共に、これまで巣立っていった先輩たちに、胸を張って「私たちすごいでしょ」と言えることです。

でもその願いも達成されていることがあります。というのも、今日のために、ここにいる全員が花を作ったり、生徒会を中心にスローガンを皆さんで考えてくれたり、美術部が記念作品とイメージキャラクターを作ってくれたり、生徒会が記念作品を作ってくれたり、そして何より今この場の皆さんの立派な姿を見れば、先輩方もきっと我々を誇りに思ってくれることでしょう。

皆さんが、60周年という記念すべき日にここ、福生二中ににいるということは一つの奇跡であり、人生の1ページに残る大変貴重なことです。「60周年記念のとき中学生だった」という事実を記憶に残すと共に君たち自身も記憶に残る生徒として、先輩方と共に社会で活躍する存在になってほしいと思います。

60周年という節目は、過去を振り返り、今を見つめ、未来へ歩みだす絶好の機会です。皆さんと我々教員との絆を大切に共に手を取り仲良く協力し、これまでの歩みを礎としながら、福生二中がより一層地域に愛され、信頼される学校であり続けられるようたゆまぬ努力を続けていきましょう。

各学年の取組 ～魅力ある学校づくりに向けて～

第1学年

11月21日(金)に行われた川越校外学習は、様々なことを学び、発見できた行事でした。当日の川越は晴天に恵まれ、道も見学場所も人が多すぎず、行動しやすい一日となりました。

今回の校外学習では、川越について学ぶことはもちろん、班行動を通してルールを守ったり、班で協力したりすることも目標としていました。学年の中には、ルールと違う行動をしてしまった人もいましたが、一日を通して多くの人がルールを守りながら行動することができていました。中には、内容を報告してくれる人もいました。これらの行動は、実行委員や班長を中心に多くの人が学校のルールを守り、守らせたことが要因だと思います。悩みを抱える班長等もいましたが、クラスや学年に力を注いでいる成果として、落ち着いた学校生活を送れています。

昼食の準備や予算書の確認等、保護者の皆様の御協力で、無事に川越校外学習を終えることができました。御家庭でもお子様の様子を見守っていただきありがとうございます。



第2学年

2学年では、11月20日(木)に公立福生病院から看護師2名を講師としてお迎えし、「がん教育」を実施しました。がんは特別な人だけの病気ではなく「誰にでも関係がある」病気であり、早期発見で治る可能性が高まることを学びました。がん検診の大切さや、正しい生活習慣が予防につながることもについても理解を深めました。

11月25日(火)のRSCでは、最大 20 分間の取組の中で、最後の生徒が16分以上跳び続けるなど、昨年度より長く跳べる生徒が増え、体力の向上が見られました。

11月26日(水)には CS 美化活動を実施し、部活動・美化委員・有志の生徒など 117 名が参加しました。CS 委員や PTA の皆様と共に落ち葉を集め、最後まで一生懸命に取り組む姿が印象的でした。



第3学年

創立60周年記念式典では、3年生の有志による合唱が披露されました。合唱コンクール終了後から有志メンバーを募り、約30名で練習を重ねてきました。当日は、一人一人が心を込めて歌い上げ、式典会場には力強く美しいハーモニーが響き渡りました。来賓の皆様から「とても美しく、感動した」という言葉をたくさんいただき、生徒たちの努力がしっかりと伝わったことを感じました。3年生にとって、次の合唱の場は卒業式です。先日の学年集会では、卒業生が歌う式歌が発表されました。「とても良い歌だなあ」という声も多く、式歌への期待が高まっています。卒業が徐々に現実味を帯びてくる中、生徒一人一人がそれぞれの思いを胸に、卒業式に向けて気持ちを整えていくことでしょう。



▲式典での有志合唱

【二中学生の活躍】

(敬称略)

陸上部 第8ブロック駅伝競走大会 男子の部 第5位

第32回福生市青少年の意見発表大会 第2学年

「外国人の差別」 山道 瑚乃 「ニュースを見て」 高島 瑛翔

善行少年表彰 第3学年 鈴木 颯太

中学生の「税についての作文」 第3学年 坪井 あいか

「税の標語」入選作品 第2学年 平野 結菜 岡本 璃佳



【RSC (ロープ・スキッピング・チャンピオンシップ)】

11月25日(火)に RSC (ロープ・スキッピング・チャンピオンシップ) が行われました。個人の部と団体の部が行われ、団体の部では、クラス対抗戦と部活対抗戦がありました。どの学年も楽しそうに縄を跳び、一生懸命に競技を行い、競技が終了した人たちもクラスや学年の人、そして頑張っている人たちを応援する姿も印象的でした。



【CS 美化活動】

11月26日(水)に CS 委員会主催の CS 美化活動が行われました。これは、毎年、二中の隣の加美平公園内の落ち葉掃きを行う活動です。今年は、117名もの生徒が参加し、なんと200袋もの落ち葉を集めてくれました。こうした地域への貢献や、わが街福生の環境をきれいにしようとする活動はとても立派であり、素晴らしい活動です。生徒の皆さん本当に御苦勞様でした。そして、ありがとうございました。



【いじめ防止サミット】

11月26日(水)に福生市役所で「いじめ防止サミット」が行われました。本校から、3年生の鈴木颯太さん、2年生の瀬口ひなたさん、1年生の高橋愛莉さんが代表としてサミットに参加しました。このサミットでは、今後10年間使われる「新 いじめを許さないまち ふっさっこ宣言」がつけられました。各小中学校、福生高校、多摩工科高校の代表児童・生徒が、意欲的に話し合い活動を行い、小学校1年生から中学校3年生までの児童・生徒の皆さんが、理解できるように分かりやすくまとめ、素晴らしい「新 いじめを許さないまち ふっさっこ宣言」がつけられました。今後、福生市内の全小中学生で共有し、皆で「いじめを許さない学校づくり」に役立てられます。